

すばやく逃げるには

桜の聖母学院中学校

一年

丹治

美羽

みなさんは、災害時にどのように行動すればよいのか考えたことはありますか。私は土砂災害に巻きこまれたことも、その他の災害にあり避難が必要になっただこともありません。今回「土砂災害防止」がテーマということですが、私が最初に考えたのは、土砂災害などの災害が起こったとき最優先になるのは人の命だということです。

いうことです。建物の修理などは人の安全がある程度確保されたからだと思います。まずは私たちができるだけ早く避難することが、より早く元の世界に戻るために必要であると思います。では、すばやく避難するためにはどのようなことが大切なのか、どのように行動したらよいのか考えたりと思います。

まず、すばやく避難するためには大切なことは情報を得ることです。なぜなら、情報が無ければいつ、どのようなところに逃げればよ

いのか令からず避難が  
おくれしてしまうから  
です。では、具体的に  
どのような情報が必要  
なのでしょう。もし、  
私が土砂災害の警戒予  
報があったときほし  
いと思う情報は「避難  
が必要」かどうかによ  
るのか。何を持ってい  
たほうがいいのか。の  
三つです。きっと多く  
の人がそう思うので  
はないでしょう。

一つ目の「避難が必要  
か」に関して、ハ  
ザードマップが役に  
立つと思います。小  
学校の授業のときに  
私が住んでいる地域  
で災害が起きたとき、  
避難が必要なのかハ  
ザードマップで見  
たことがあります。私  
の地域には「近くに  
大きな山や川があま  
りないので比較的安  
全だ」と知りまし  
た。また、テレビや  
ラジオなどで避難が  
必要か確認してみ  
るのもよいと思  
います。ニュースで  
はどの地域でどの  
くらい大きな災害が  
起きているのかや警  
戒が必要な地域につ  
いて簡潔に情報を  
得ることができ  
るので、便利です。  
ハザードマップに

関しては二つ目の「どこにどのように避難す  
ればよいのか」でも役立ちます。「どこに  
は指定避難所の看板で知っている人も多いと  
思いますが、」どのようには悩むことがあ  
ると思います。「ハザードマップは危険な場所  
が分かるので、そこを避けて避難経路を考え  
るとよいでしょう。非常持ち出し袋を準備す  
れば、三つ目の「何を持っていったらよ  
いのか」と悩むこともありません。中に入れ  
るものは、家族構成や季節によっても変わる

ので、定期的の中を確認するとなお安心です。  
また、避難するためにはあるとよいものも事前  
に準備することです。少しでも早く避難すること  
ができます。このようにすれば、早く避難するた  
めには、災害が起きたときのために事前の準備  
をおこなわないことが大切だと分かります。  
次に、「」どのように行動したらよいのか  
についてですが、「私はできるだけ多くの人と  
行動することが重要になると思います。実際  
少人数より大人数で避難した方が安全に避難

できましたという事例もあります。もし無事に避難できなくても、大人数のほうが見つけてもらいやすいということもあります。たくさんの方の可能性に備えて行動することが大切です。災害に巻き込まれても冷静に正しい判断できれば、より安全に避難することができます。しかし、緊急時に、冷静に行動できる人は少ないと思います。私ももし災害にあつたら大パニックになり、普段よりも正常な判断ができなくなってしまうと思います。少しでも冷静

に行動できるようにも、市や地域で行われて  
いる避難訓練に参加することがよいと考えま  
す。実際に災害が起こつたという仮定で、避  
難経路や注意事項を確認できるよい機会だと  
思います。

私は今回、土砂災害が起こつたときの避難  
する上で大切なことや重要なことを考えまし  
た。やはり最も重要なことは「事前準備」で  
す。危険な場所や避難場所のはあく、非常持  
ち出し袋の用意や避難訓練の参加などをし

かり行うことで、すばやく、そして安全に避難することか、できません。みなさんも一度、災害時にどのような行動したらよいのか、何を持って避難するのかなどをしっかり考えてみてほしいと思います。考えたことが、きっと自分の身を守ってくれらることにつながると思います。